

事業計画書

事業名	沼津ロゲイニング&バスロゲイニング
実施場所	沼津市中央公園をスタート&ゴールとする市内全域
実施予定期間	平成30年4月1日～平成30年6月30日

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
	<p>【事業内容】 ロゲイニング開催実績がある株式会社 M's PLANNING と、中央公園内の沼津ランニング&スキルズステーション、株式会社東海バスオレンジシャトルが協力して実行委員会を組織し、ラン&ウォークだけでなく、バスを使用したロゲイニングとする。</p> <p>前回の反省点を踏まえ、開催時期をイベントが少なく気温のあまり高くない5月とする。</p> <p>～ロゲイニングとは？～</p> <p>沼津市内の建造物や飲食店などをチェックポイントとして得点が設定された地図をもとに、時間内にチェックポイントを回り、得点を集めるスポーツ。チェックポイントに到達した記録として、写真一覧と同じ風景を撮影する。全部のチェックポイントを回る必要はなく、チェックポイントによって得点が異なるため、制限時間内に高得点になる可能性のあるルートをチームで考える自由度の高い競技である。</p> <p>【コンセプト】 『ヌマツと〇〇する機会』</p> <p>【キャッチフレーズ】 『Eat, safety and the rogeining』</p> <p>【事業の特徴】 通常のロゲイニングとは異なり、バスの利用を可能としている。 飲食店をチェックポイントとし、商品を購入しレシートを持ってくることでポイントになる。</p> <p>チェックポイントに飲食店やラブライブ関連スポットを加えたり、“スマイル賞”“仮装賞”“東海バス賞”“ラブライブ賞”などを設けたりすることで、敷居を下げ、様々な人が参加しやすくしている。</p> <p>【開催日】 ・平成30年5月20日（日）を予定</p> <p>【実施場所】 ・沼津中央公園含む沼津市内全域、また東海バス沼津市内運行エリア</p> <p>【参加対象】 ・沼津市内外含む競技経験者、ランナー、家族など子供から大人まで。</p> <p>【参加人数】 ・60～70チーム、300名を想定</p> <p>【参加費】 5時間の部：3,500円/20～30チーム、80名 3時間の部：3,000円/40～50チーム、120名 両部門、中学生以下：500円×100名</p>

【表彰】

各クラス 1～3 位のチームの他、“スマイル賞” “仮装賞” “東海バス賞” “ラブライブ賞” を選定

【人員配置（当日スタッフ）・当日役割分担】

- ・本部：2 人、写真撮影：1 人、エリア内見回り：5～10 名、
集計係：6～10 名
ボランティアスタッフ 20 名

【開催までのスケジュール】

2 月 告知・参加者募集

チェックポイント候補の選定、広報ぬまづへの掲載

前回の反省を踏まえ、昨年から各大会でチラシ配布協力をお願いしている県内 200 カ所以上の企業や施設へのチラシ配布を早める。

また、メルマガなど発信方法を増やし、まずは知る機会を作るとともに目に留まる機会を増やす。

3 月 地図の作成

4 月 広報ぬまづへの掲載

5 月 最終調整、前日準備

5 月 20 日 当日 8：20～ 受付開始

9：30～ 開会式

10：00～ 競技開始

13：00～ 3時間の部終了

15：00～ 5時間の部終了

6 月 実行委員会（反省会）

◎事業効果

【沼津の魅力PR】

- ・沼津市在住スタッフだからこそ作れるチェックポイントで沼津の新たな一面を発見できる機会となる。
- ・市外からの参加者には沼津の良さを知ってもらう機会となり、市内の参加者にとっては沼津の魅力再認識して頂ける。
- ・飲食店ポイントの設定による経済波及効果が期待できる。
- ・参加者による SNS 等への自発的な情報発信効果。

【公園の活用】

- ・市外からも参加される方も多いため、中央公園を観光拠点としたイベントとなる。

【バスの利用促進】

- ・バスに乗る機会が少ない親子連れなどにバスに親んでもらえる。
- ・バス路線、時刻表の見方、バスの乗り方などを知ってもらうことで、バスの利用拡大が期待できる。

【数値目標】

60～70 チーム、300 名の参加

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを確認して下さい。

<p>公益性</p>	<p>※不特定多数の住民の利益の増進、地域のまちづくりの推進に寄与する事項等を記載して下さい。 まちのにぎわい創出や沼津の魅力のPRにつながるイベントである。 東海バスオレンジシャトルの参画によってバスの利用可能とすることで、バスの利用促進に繋がる。 また、チェックポイントの中には飲食店も含まれ、商品を購入しレシートを持ってくことでポイントとなる仕組みになっているため、地元飲食店の活用促進に繋がるだけでなく、途中にある店舗や施設への誘致へと繋がる。</p>
<p>発展性</p>	<p>※活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 全国でも人気のある大会であるため、今後のさらなる発展をやすく、支援して下さる企業や施設が増えることで自立が可能であり、活気のあるイベントにもなりやすい。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実情・課題の解決に向け工夫した点、地域資源の活用などについて記載して下さい。 イベントとしての範囲が沼津市内全域を使うこともあり、沼津市民の方には参加しやすいイベントであり、知らなかった場所や魅力の発見の場となる。 また、バスを利用することにより、運動が難しい高齢者や子どもにも参加しやすいイベントとなり、より活気を生み出しやすいと考える。 沼津市在住スタッフだからこそ作れるチェックポイントを入れることで通常のロゲイニングとの差別化を図られる。</p>
<p>必要性</p>	<p>※事業を実施する意義や、補助金の交付が有益で質の高い事業展開につながる理由について記載して下さい。 沼津市全体を活用し、幅広い年齢層を対象としたイベントはなかなか難しく、かつ日頃運動量が低下している社会人や親世代、高齢者の方も気軽に運動を行える競技として、今後の必要性が高いのではないかと思います。 また、全国的に知られている「ロゲイニング」という競技だからこそ、まずは県内、そして市外からと観光客を増やすイベントとしても必要性は高いと考える。 路線バスは年々利用者が減少し、存続が危ぶまれているため、幅広い年齢層の方にバスに親んでもらう機会が必要である。</p>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、工夫した点について記載して下さい。 全国的に開催しているフォトロゲイニングとは違い、地域に根差し密着したイベントであることから、他地域では実施をしていないと思う。 バスを利用可能とし、バスの利用促進を目的のひとつとしている点も先導的である。 また、表彰内容の一つである“スマイル賞”“仮装賞”“東海バス賞”は、沼津の街全体に自然と笑顔を作り、街全体を明るくする。</p>
<p>継続性</p>	<p>※助成事業終了後も継続的・自立的な活動とするために、どのように取り組んでいくかについて記載して下さい。 バス会社との協力やラブライブとのコラボなど、従来のロゲイニングにはなかった試みによって、ロゲイニングの新たな一面を切り拓き、次の展開に繋げていきたい。 参加者に喜んでもらえるコンテンツを提供し、発信してもらうことで、イベントの認知向上、リピーターの確保を図り、参加費でイベント運営ができるようにしたい。 今回のイベントを沼津市内全体に周知し、次回以降の当イベントに協力していただける企業へアピールしていくことで、継続的な開催を可能としたい。</p>